

水田園芸拡大品目「にんじん」の収益力アップ研修会 開催要領

1 目的

にんじんは、①水稲作業との競合が少ないこと、②水田における機械化一貫体系が確立していること、③J A・全農による機械の貸出体制と収穫後の洗浄選別作業の受託体制が整備されていることから、基盤整備した大区画ほ場をはじめとした水田での導入に適した品目であり、県では水田園芸拡大品目として生産振興を図っている。

一層の生産拡大を図るためには、近年の異常気象に対応できる技術対策の徹底や生産拡大に伴う販路確保が課題となっている。

本研修会では、にんじんの単収向上や導入計画の作成のポイント、実需者ニーズ等について紹介するとともに、目標株立ち数の確保のためのうね立て・は種やかん水の方法について実演し、にんじん導入経営体等の安定生産技術の習得と経営目標の早期達成を支援する。

2 主催 富山県園芸振興推進協議会

3 共催 富山県野菜協会

4 日時 令和6年7月2日（火）13:30～16:15

5 場所 集合・研修会場 県農林水産総合技術センター園芸研究所
(砺波市五郎丸 288)
対面・オンライン (Zoom) のハイブリッド開催
(ただし、オンライン (Zoom) は座学研修のみ)

6 日程

時間	場 所 ・ 内 容
13:15～13:30	受付 園芸研究所
13:30～15:00	(1) 座学研修 ・にんじんの機械化一貫体系と単収向上のポイント ・経営目標の早期達成のためのにんじん導入計画の作成方法と他品目・作型と組合せた輪作体系 県農業技術課広域普及指導センター普及指導員 豊本 茉友花 氏 ・加工業務用野菜の需給動向と県産にんじんに求められること (仮) 株式会社 vegetable support366 代表取締役 小林 健二郎 氏
15:00～15:10	移動 (徒歩)
15:10～16:15	(2) 現地研修 (園芸研究所ほ場) ・株立ち数確保のためのうね立て・は種機の設定方法 県農林水産総合技術センター園芸研究所技能主任 安カ川 剛士 氏 ・株立ち数確保のためのスプリンクラーによるかん水方法 全国農業協同組合富山県本部 TAC 営農対策課 塩川 亮太 氏
16:15	閉会・解散 園芸研究所

※雨天等の場合は変更の可能性があります。

7 参集範囲 にんじん生産者、にんじん導入の意向がある生産者、J A、全農、市町村、県